

事業所名

運動学習支援教室そら・ふね黒松

支援プログラム(児童発達支援)

作成日

令和6年

9月

9日

法人(事業所)理念		ご利用者様にとって安価で良質な療育を行うことで地域や社会に貢献し、地域福祉にとって必要不可欠な存在となることを目指し、児童福祉の役割を果たす					
支援方針		運動や学習、専門職との個別療育を中心に利用者様一人ひとりのニーズを解消できるように支援を行う 保育士や理学療法士など各専門職が連携する 保護者の困り感や不安解消のために保護者支援を行う					
営業時間		10時	分から	19時	分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援を行う 児童の特性や性格に配慮した上で日常生活の援助や排泄等の支援を行う 身の回りのことなど必要な生活スキル獲得に向けて、必要に応じてアドバイスやサポートを行う <small>必要に応じて児童の特性に合わせて合理的配慮を行いながら活動の場を確保化する</small>					
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善および習得、筋力の維持・強化の支援を行う 衣服の着脱などADLの確立を目指した支援を行う 保有する五感を最大限生かせるように遊びや活動を通して支援を行う <small>状況に応じて使用されている児童に対して、日常生活に必要な移動能力の向上を目指した支援を行う</small>					
	認知・行動	一人ひとりの特性に合わせて、五感の情報収集を行いながら認知機能を発達を促す支援を行う 個々の特性に合わせて自身で理解できる情報を適切に処理できるように促し自身で事故決定できる環境を整え、支援を行う 運動や学習に取り組む際に空間、時間、数等の理解や獲得ができるように、合理的配慮を行う <small>感覚や認知の偏りがでないよう、必要に応じて職員がアドバイスをサポートを行う</small>					
	言語コミュニケーション	言語的コミュニケーション能力に応じて、正しい言葉の理解や活用方法を繰り返しその場面に応じて伝える支援を行う 非言語的コミュニケーションでは、場面に応じたジェスチャーや仕草、表情や態度を繰り返し伝えるなどの支援を行う 言葉を通して物、人を表して受容できるように支援を行う <small>必要が少なくなるまで自ら伝えたい、発信したいと思えるように職員との信頼関係を構築していく</small>					
	人間関係社会性	事業所スタッフと関り、人間関係の構築や継続的に関りを持つことで安心感を得られるよう支援を行う 他児との関りを通し、同学年や異学年と関係を築きながら他者の存在を得る機会を持つ 集団活動の中で、他者と同じ体験を共有する機会を作り、成長の場を作る <small>地域行事や社会へ参加し活動の場を広げる</small>					
家族支援		保護者面談 保護者会等で保護者が相談できる場を設ける			移行支援		必要に応じて他事業所の紹介、申し送りを行う ライフステージの切り替え意を見据えた、地域の生活の場や育ちの場との交流
地域支援・地域連携		地域連携会議への参加 他事業所との交流や情報交換			職員の質の向上		職員の各種勉強会や研修への参加 自発管資格取得の支援
主な行事等		季節行事 保護者会 地域関係機関と交流					

事業所名

運動学習支援教室そら・ふね黒松

支援プログラム(放課後等デイサービス)

作成日

令和6年

9月

9日

法人（事業所）理念		ご利用者様にとって安価で良質な療育を行うことで地域や社会に貢献し、地域福祉にとって必要不可欠な存在となることを目指し、児童福祉の役割を果たす					
支援方針		運動や学習、専門職との個別療育を中心に利用者様一人ひとりのニーズを解消できるように支援を行う 保育士や理学療法士など各専門職が連携する 保護者の困り感や不安解消のために保護者支援を行う					
営業時間		10時	分から	19時	分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援を行う 児童の特性や性格に配慮した上で日常生活の援助や排泄等の支援を行う 身の回りのことなど必要な生活スキル獲得に向けて、必要に応じてアドバイスやサポートを行う 必要に応じて児童の特性に合わせた合理的配慮を行いながら活動の場を構造化する					
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善および習得、筋力の維持・強化の支援を行う 衣服の着脱などADLの確立を目指した支援を行う 保有する五感を最大限生かせるように遊びや活動を通して支援を行う 補装具など使用されている児童に対して、日常生活に必要な移動能力の向上を目指した支援を行う					
	認知・行動	一人ひとりの特性に合わせ、五感の情報収集を行いながら認知機能を発達を促す支援を行う 個々の特性に合わせて自身で理解できる情報を適切に処理できるように促し自身で事故決定できる環境を整え、支援を行う 運動や学習に取り組む際に空間、時間、数等の理解や獲得ができるように、合理的配慮を行う 感覚や認知の偏りがでないよう、必要に応じて職員がアドバイスやサポートを行う					
	言語 コミュニケーション	言語的コミュニケーション能力に応じて、正しい言葉の理解や活用方法を繰り返しその場面にに応じて伝える支援を行う 非言語的コミュニケーションでは、場面に応じたジェスチャーや仕草、表情や態度を繰り返し伝えるなどの支援を行う 言葉を通して物、人を表して受容できるように支援を行う 需要が少しづつ進み自ら伝えたい、発信したいと思えるように職員との信頼関係を構築していく					
	人間関係 社会性	事業所スタッフと関り、人間関係の構築や継続的に関りを持つことで安心感を得られるよう支援を行う 他児との関りを通し、同学年や異学年と関係を築きながら他者の存在を得る機会を持つ 集団活動の中で、他者と同じ体験を共有する機会を作り、成長の場を作る 地域行事や社会へ参加し活動の場を広げる					
家族支援		保護者面談 保護者会等で保護者が相談できる場を設ける			移行支援		必要に応じて他事業所の紹介、申し送りを行う ライフステージの切り替え意を見据えた、地域の生活の場や育ちの場との交流
地域支援・地域連携		地域連携会議への参加 他事業所との交流や情報交換			職員の質の向上		職員の各種勉強会や研修への参加 自発管資格取得の支援
主な行事等		季節行事 保護者会 地域関係機関と交流					